

# 非常食に関心を持っていただくために

くらしき作陽大学 2年 平松愛海  
(秘書室・危機管理室)

## 食事で少しでもこころを癒したい！

(目的) 災害時でも栄養のある温かい食事で避難者の心を癒す。

(概要) 災害時でも簡単に自分たちで温かい料理が作れるようにレクチャーをする。

### 背景・現状

- ・西日本豪雨の時の食事は非常食が多かった。
- ・温かい料理ではなくお弁当が主であった。
- ・誰でも温かい料理が作ることができればみんなの心が癒される。
- ・インターンシップを受け入れてくださった総社市と私の通うくらしき作陽大学食文化学部がつながる良い機会である。

### 具体的内容

- ・私たち食文化学部が誰でも作れる栄養のある非常食(炊き出し)のレシピを考える。
- ・総社市には自主防災組織があるのでそこでレクチャーをする。
- ・防災訓練の後の一つのコーナーとして出す。
- ・レシピを書いたものをプレゼントする。

### 対象

- ・自主防災組織の方々
- ・防災訓練に参加してくださった方々
- ・くらしき作陽大学の生徒

### あなたの役割

- ・栄養学科なのでレシピを考える
- ・防災訓練への呼びかけ

### 予算規模: 約30万円

- ・レクチャーの材料 20万円
- ・レシピの印刷代 3万円

### 見込める効果・期限

- ・温かい料理を災害時に提供できる
- ・くらしき作陽大学と総社市の連携

### 実行上の課題

- ・災害時の食料や調理器具の確保